

当世「若者ことば」の特徴と機能

— 岐阜大学キャンパスことば事情 1995/96 —

洞 澤 伸

ドイツ語研究室
(1996年6月28日受理)

Merkmale und Funktionen der modernen Jugendsprache

— untersucht an der Universität Gifu 1995/96

Shin HORASAWA

Deutsche Abteilung

(eingereicht am 28. Juni 1996)

1. はじめに

次の例文(1)-(4)は、いずれも岐阜大学の学生たちの日常会話からの抜粋であるが、私たちにはどれだけその意味が分かるだろうか。これらの中には、何となくイメージがわくものもあれば、見たことも聞いたこともなく、その意味がまったく不明であり、世代間のギャップを感じさせるものもある。

- (1) 「3限あいたから、あずろうぜ!」－「暇だから、あずるか!」
- (2) 「きのう、テツカラだったよ」
- (3) 「今日5時からカテイキョーだから、ソッコで帰るわ」
- (4) 「次の授業休講だって、これからどうする?」－「まあ、ゲーセンで
安定でしょう」

「最近、若者たちのことばが乱れていて嘆かわしい」というように若者たちの日常のことば遣いについてさまざまな問題が指摘されることがある。しかし、ことばは時代とともに常に変化していくものであり、多様なことばを身につけることは言語表現が豊かになることでもある。若者たちの理解できないことばや規範に合わないことばを「乱れ」として排除するのか、それとも「揺れ」としてその実態を客観的に捉えて柔軟に対応する立場をとるのかで私たちが若者に対してもつ「若者観」も変わってくる。本稿の目的は、(1)-(4)のような

「若者ことば(キャンパスことば)」の特徴を分析して現代の「若者像」を考察するとともに「若者ことば」の言語的機能を探ることである。

2. アンケートの実施

岐阜大学における「若者ことば」の実態を調べるために、1996年2月に1年生定員1300人のうち約200人を対象にアンケートによる調査を行った。質問項目は、次の4項目である。なお、このアンケートの結果、集まったことばは200以上にも及び、それらはすべて「岐阜大学キャンパスことば一覧」として五十音順にして本稿の末尾に付した。

- (5) ①表現
- ②意味
- ③用例
- ④コメント

3. 「若者ことば(キャンパスことば)」の特徴

アンケートによって集まった「キャンパスことば」の用例を分析した結果、次のような特徴があることが分かった。なお、各表現に付いている [] 内の番号は、本稿末尾に付した「岐阜大学キャンパスことば一覧」におけるリストの通し番号である。また、ここではアンケートの項目の①②③のみをあげることにする。

3.1. サークル用語は隠語的性格をもつ

- (6) ①赤じゅうたん ([1])
 - ②音楽棟の部屋の略称
 - ③「今日の練習は赤じゅうたんでやる」
- (7) ①(右に/左に)おれ ([31])
 - ②(右/左に)まがれ
 - ③「そこの信号を右に/左におれ」
- (8) ①P練(ピーレン) ([178])
 - ②パートごとの練習
 - ③「今日のP練は1:30からです」
- (9) ①-er ([226])
 - ②~する人
 - ③「荷物ハコバー」(=荷物を運ぶ人)

類別：[33]音1/2, [39]Cafe(カフェ), [54]くねる, [67]個P練(コピーレン),
[70]合練, [204]緑じゅうたん

これらは、学生の課外活動であるサークルという特定の集団内でしか使われない表現である。つまり、これらはその使用範囲が限られており、それゆえに外部の者にはまったくその意味が分からない隠語的性格をもった「若者ことば」である。たとえば、(6)「赤じゅうた

ん」と(8)「P 練(ピーレン)」は、オーケストラのサークルで使われているもので、それぞれ部屋の特徴(赤いじゅうたん)からきた練習の場所および練習の仕方(パート別の練習)を意味しており、オーケストラのメンバー以外には理解できない。また、(7)「(右に/左に)おれ」は馬術部で使われているサークル用語で、本来は馬に対する命令表現であるが、たとえば、サークルのメンバーで車に乗ってどこかへ遊びに出かけ、交差点でドライバーに指示する時にもこのように言うのである。弓道部で使われている(9)「-er」は、語尾につけて「~する人」を表し、たとえば「荷物ハコパー」は「荷物を運ぶ人」、「キューダー」(←弓道+er)は「弓道をする人」を意味するように生成性がある。隠語的性格をもつとはいえ、サークル内の重要な秘密を守るといった本格的なものではなく、何かをあからさまに直接的に言うのを避けたり、必要なことを正確かつ敏速に伝達するために使われている。このような外部の者には分からないことばを使うことで同じサークルに属するメンバーの「仲間意識」や集団への「帰属意識」を高めたり、特別なことばを考え出して使うことで集団内の活動の単調さを破り、それに変化と面白味を加えるといった効用があると考えられる。また、逆に、もしこのような隠語的性格をもつサークル用語を使いこなせなければ、同じ仲間とは認めてもらえないことになる。

3.2. 短縮語が多い

(10) ①コンプロ ([68])

②工学部の専門科目の「コンピューター・プログラミング」の授業のこと

③「コンプロの課題もうやった？」

(11) ①全通/ぜんつう/全つー ([101])

②テストが全部通ること

③「おれ、前期の講義全通やったわ」

(12) ①ドボッキー ([143])

②工学部土木工学科の学生のこと

③「ねえ、あの人ドボッキーなんだって」

(13) ①ばん ([166])

②ラーメン屋「サッポロラーメン21番」のこと

③「ばん行こうぜ！」

類例：[8] いつボジ, [9] 1食, [16] 応化, [36] 過去問, [37] カテイキョー,
[42] 仮駐, [43] カリカリ, [45] カンベ, [65] 構力, [86] 車校,
[90] じこちゅう, [130] テツ, [141] 土手駐, [142] ドボカー,
[151] ノーベン, [176] ビニベン, [182] ファミレス, [195] ほけかん など

省略表現は、「若者ことば」や流行語に限らず日本語ではごく一般的に見られる現象である。たとえば、パソコン、ワープロ、自販機、総理、日銀、住専... など枚挙にいとまがない。これは、日本語の1音節が原則として2音(「子音+母音」)で構成され、しかも各音節は同じ長さ(1拍)で同じ強さの音で発音されることに原因がある。日本語の音声は、その特徴としてよく機関銃や自動車のエンジン音のように単調であると説明されるとおり、少し

長めの単語になると冗長になり、どうしても省略したいという欲求が働く。たとえば、工学部の専門の授業科目名である「コンピューター・プログラミング」は13拍であるが、省略されて(10)「コンプロ」のように4拍、「サッポロラーメン21番」というレストランの名前は15拍であるが、これは(13)「ばん」のように2拍となる。このように若者たちは無意識的に伝達上必要最小限度まで省略を行い、新しい表現を即座に作り出している。長いのは面倒だから短くしているわけであるが、できる限りの省略を行い、しかも過不足なく意味を伝達するという矛盾する両者をどのように両立させ、その均衡をはかっているのか、まさに驚異的であるといしか言いようがない。また、たとえば、「工学部土木工学科の学生」のことを(12)「ドボッキー」または「ドボカー」([142])のように省略することによって、ユーモラスと同時に非常に強烈なインパクトを与える表現となっているものもある。省略は物事を簡潔に伝達するのに適しているが、これらの「若者ことば」は、逆にそのことによってことばを特殊化してしまい、したがって、私たちにとってはその意味が不明になってしまうのである。以上のように「若者ことば」においても、「同じ目的を達成することができるならできるだけその労力は少ない方がよい」とされる人間にとって自然である「簡単化の欲求」(＝「言語の経済性」)が反映されており、「若者ことば」の大きな特徴となっている。

3.3. 「短縮語+(する)」の表現が多い

- (14) ①あずる ([4])
 ②AZUMA というパチンコ屋でパチンコをすること
 ③「3限あいたから、あずろうぜ！」－「暇だから、あずるか！」
- (15) ①カラる ([40])
 ②カラオケをする
 ③「1時からカラるで」
- (16) ①サクル ([73])
 ②サークルKに行くこと
 ③「どこ行く？」－「ちょっと、サクルうか」
- (17) ①ライブる ([220])
 ②附属図書館へ行くこと
 ③「ちょっと昼休み、ライブろうぜ」

類例：[38] かのる、[46] ガジる、[47] 気絶する、[51] ぎゆる、[54] くねる、
 [61] 撃沈する、[63] ゲットする／ゲッチューする、[64] CoCoる、
 [69] コピる、[80] サボサボする、[82] シカトする、[91] 事故る、
 [95] ジャンる、[105] タクル、[112] ダブる、[133] デビューする、
 [134] デリる、[135] とうひる、[137] 突撃する、[148] 2食る、
 [160] ハモる、[162] バグる、[165] バリる、[172] バギる、[174] パチる、
 [175] パニクる、[180] ピロる、[191] ベルる／ベルする、[199] マクル、
 [202] ミスる1、[203] ミスる2、[210] メモる、[211] モクル、[213] モスる、
 [217] ヤニル、[222] ラウンジる など

「名詞+(する)」の表現は、決して新しくはなく、第二次近衛文麿内閣（1940.7.22.-1941.7.18）の文部大臣また生理学者でもあった橋田邦彦が「科学する」と言っ、多くの学者から「こんな日本語はない」、「そんな言い方はない」と指摘されたことがあった。また、たとえば、博友社刊『木村・相良独和辞典』などにはドイツ語の Philosophie「哲学」に対応する動詞 philosophieren の訳語として「哲学する」があげられているが、これは作り出されたものであることが知られている。「科学する」、「哲学する」などは別として、現在では、「食事する」、「勉強する」、「コピーする」、「110番する」などは、まったく一般的となり、抵抗感なく使われるようになってい。「名詞+(する)」の名詞は、基本的に動作名詞またはその名詞が少なくとも動詞的なイメージで捉えられなければ一般に受け入れられるようにはならない。しかし、この規則を打ち破る造語法が雑誌、小説などで多く見かけられ、日常生活の中でも、たとえば、電子レンジで調理することを「チンする」などと言ったりするが、これらはたとえその意味が分かってもどこか舌足らずで聞いてあまり感じの良くないものが多い。数年前、一時的に「青春する」「OLする」などのことばが流行したことは記憶に新しい。名詞に「(する)」をつけて動詞にするこの方法は、簡潔に表現できるという点において便利であり生成性が非常に高く、「若者ことば」において爆発的な増加の傾向にある。特に短縮語につけて使うのが大きな特徴となっており、たとえば、カラオケをすることは、(15)「カラル」であり、附属図書館へ行くことは(17)「ライブる」なのである。2時限目の授業が終わり、昼時ともなれば友達に「おーい、2食ろうぜ！」と声をかけ、大学生協の第2食堂へ行って「2食る」([148])のである。また、このような「若者ことば」は大変なスピードで出来上がるようである。たとえば、インド料理レストラン「ガンジー」が大学の近くにオープンしてから1カ月後にはすでに「ガジる」([46])という表現が生まれて使われていたことがアンケート調査を行った時期から推測することができる。パチンコをすることは「パチる」([174])であり、大学の近くのパチンコ店 AZUMA で「パチる」ことは、(14)「あずる」と言う。また、たとえば、コンビニエンス・ストアのサークル K に行くことは、(16)「サクる」のように表現するが、この類例として「モスる」(←モスバーガー) ([213])、「ミスる」(←ミスター・ドーナッツ) ([202])、「デリる」(←デイリー・ストア) ([134])、「マクる」(←マクドナルド) ([199])、「バリる」(←マクドナルドでバリューセットを注文すること) ([165]) などがあり、このようなところに若者たちの日常生活を垣間見ることができる。また、「コンビニエンス・ストア等の店名+ってくる」という表現形式もあり、たとえば、デイリーストアに行くことは、「デイリーってくる」([132])とすることもある。このように「短縮語+(する)」により、新しい表現が次から次へと生み出され、「若者ことば」の表現能力は非常に豊かになっている。

3.4. 重ねことばがある

- (18) ①くちゃくちゃに ([52])
 ②滅茶苦茶に
 ③「お前、人の事くちゃくちゃに言うなー！」
- (19) ①サクサク～する ([72])
 ②てきぱき、さっと～する

- ③「おまえ宿題サクサクやれよ」
- (20) ①サボサボする ([80])
 ②授業をさぼる
 ③「今日の1限, サボサボしよう」
- (21) ①ノリノリ ([152])
 ②気分が最高調であることを表す
 ③「今日, ノリノリじゃーん, 杉浦!」- 「んー?」
- 類例: [77] さむさむ, [146] だろだろ駐, [181] ピロピロ

「若者ことば」には, (18)-(21)のようなさまざまな重ねことば, つまり畳語形の表現がある。これらについては, (18)「くちゃくちゃ」は形容動詞からの派生, (20)「サボサボする」は動詞「さぼる」を短縮し, それを繰り返して「する」を付加した形式, (19)「サクサク〜する」は擬態語・擬音語からの派生であると考えられる。また, (21)「ノリノリ」は名詞「乗り」の反復であったりとこれらの重ねことばは多種多様である。これらには, 同じ音の繰り返しによって単にリズム感と面白味を出すということだけではなく, 擬態語・擬音語の音形態と共通する物事の感性的な捉え方がその根底にあると考えられる。日本語は, 擬態語・擬音語が豊富な言語であり, それは物事の状態や様子を感じ覚的に表現する日本人の感性の表れであるということがよく言われる。これらの重ねことばも, 若者たちの感性による所産と言えよう。

3.5. 特徴的な強意表現を使う

- (22) ①鬼のような(に〜) ([25])
 ②ものすごい〜, すごく〜
 ③「今日, 鬼のように寒いね」
- (23) ①激〜 ([60])
 ②とても〜
 ③「このパン激マズ!」
- (24) ①ちょう/超〜 ([117])
 ②とても, すごく〜
 ③「ちょうダサイ」
- (25) ①ちょー〜 ([118])
 ②非常に, 大変〜
 ③「昨日さー, 『ポキヤ天』見たんだけどさー, もー, ちょーすごいってあれ」
- 類例: [26] おにむか, [209] 「めっちゃ」

これら(22)-(25)は, 程度を強めたい時に使う強意語である。強めたい程度によって使い分けがあるらしい。類例として「おにむか」(=非常にむかつく) ([26]) のように定式表現になっているものもある。このような強意語は, 大人たちにとって大変な違和感があるらしく, 小・中・高校生がこれを使うと親は必ず「“超” はやめなさい, “超” は」と言って叱

るようである。今では、そのように親が子を叱る場面がテレビのコマーシャルに登場するまでになっている。『現代用語の基礎知識 (1996)』の「若者用語」の解説欄には、「ちょーかつこいい」(=とても格好いい), 「ちょうねむ」(=とても眠い), 「ちょうバッド」(=とても悪い), 「ちょうさむ」(=とても寒い), 「ちょうすご」(=とてもすごい) などの例が載っており, これらの強意語はかなり応用がきくものらしい。また, テレビからの最新の情報によると, 現在, 「ちょう MM (エムエム)」(=ちょうマツハむかつく), 「ちょベリバ」(=ちょうベリーバッド), 「ちょベリプ」(=ちょうベリーブルー) のようなことばが登場しているという。

3.6. ことばの一部を倒置する

- (26) ①プクイチ ([185])
 ②イップク (たばこを吸う) すること
 ③「疲れた, プクイチするぞ」
- (27) ①ポリサーする ([197])
 ②授業をさぼること
 ③「今日の2限はポリサーするわ, 俺」
- (28) ①ぼうきん ([198])
 ②金宝町 (地名)
 ③「ぼうきんでバス降りて, 新岐阜まで歩くわ」

倒置は, 既存の語彙成分の順序の一部を転換して別語形を作り出す造語法であるが, 日本語では隠語においてしばしば見られる。このような「倒語」には, たとえば, 「だふ屋」の「だふ」(←ふだ), 明示しにくいものを指す「れこ」(←これ), 香具師仲間の隠語である「しょば代」の「しょば」(←ばしょ) などがある。「若者ことば」においても用例 (26)-(28) のような倒置による造語が観察される。倒置することによって, 語義を強調するとともに, 新鮮さと強いインパクトを与えるという表現効果があると考えられる。

3.7. 婉曲的・比喩的な表現がある

- (29) ①奥さん ([19])
 ②自分の彼女の事をさす
 ③「うちの奥さん, めっちゃカワイイんだって!」
- (30) ①闘ってくる ([106])
 ②トイレで大きい方へ行くこと
 ③「ちょっと俺闘ってくるわ」
- (31) ①ツモる ([124])
 ②授業の出席日数が足りなくなり, 受験資格を失うこと
 ③「あのドイツ語ツモっちゃった。昨日でもう4回休んじやったから」
- (32) ①ドラゴン ([144])
 ②留年のこと (ドラゴン→龍→留)

③「実験落とした。オレドラゴンだ」

類例：[10]一発, [12]うっとりい, [13]裏スジ, [18]オールドラゴン,
[71]5カ年計画, [112]ダブる, [113]ダブルドラゴン, [138]留・福留,
[226]リーチ

「若者ことば」にも、恥ずかしいこと、言いにくいことを何か別のものに例えて婉曲的・比喩的に表現するものがある。たとえば、(29)「うちの奥さんは…」と言えば、それはもちろん配偶者のことではなく、自分の彼女のことを意味する。自分の恋人のことを「ぼくの彼女は…」と言うことには、どうも恥ずかしさがともなうらしい。「うちの奥さん」とサラリと言ってしまうえば、それが現実性がないことだけに恥ずかしさもなく、面白味が出てくるのであろう。トイレで大きい方へ行くときには、その恥ずかしさからか(30)「ちょっと俺闘ってくるわ」と友達に言い残してその場を離れ、しばらくして帰ってきてからは「かなり強敵だった」または「激しい闘いだった」というような発展形もある。また、授業の欠席回数をマージャン用語を比喩的に使って段階的に表現することがある。たとえば、出席を毎回とる外国語の授業などでは、1学期中の授業回数の約3分の1にあたる4または5回欠席すれば受験資格を失うが、欠席許容限度である3回または4回休んだ場合、それは「リーチ」([225])なのであり、その翌週欠席すれば(31)「ツモる」、つまり受験資格を失い、落第が決定することになる。また、通るかどうかわからない授業のことを「裏スジ」([13])などとも言ったりする。「留年」にまつわることばもいくつもあり、たとえば、成績不良で「ダブった」([112])学生は(32)「ドラゴン」(ドラゴン→龍→留)と呼ばれ、「5カ年計画」([71])を立てるのであるが、ややもすると「ダブルドラゴン」([113])になってしまう。

3.8. 社会的出来事・時代性を反映することばがある

(33) ①サティアン ([76])

②工学部のある研究室のこと

③「〇〇先輩、サティアンで実験しているらしい」

(34) ①ベルってる ([189])

②ポケットベルをバイブモードにしておいて、メッセージが届いたときにポケットの中などでふるえている状態

③「わー、ベルってるよ」

(35) ①ベルをミス ([190])

②ポケベルにうまくメッセージが入らないこと

③「佐織のベルミスってるよ」

(36) ①ベルる／ベルする ([191])

②ポケベルで連絡すること

③「今日の夜、ベルってー！」

類例：[7]「イタベル」、[41]「カラベル」、[192]「ベルトモ」、
[139]「ドコモリアン」

1995年は、阪神大震災から始まり、一連のオウム事件、発砲事件、銀行破綻、住専問題、いじめ問題、沖縄の米軍基地問題にまで発展した事件など安心して暮らせる日本の「安全神話」を大きく揺さぶる重大で暗澹たる事件が連続した年であった。このような社会の出来事が世相語として岐阜大学の「若者ことば」に反映されたものは、今回の調査で集まったものの中では(33)「サティアン」の1語だけであった。これはオウム真理教の建物の名称であり、工学部のある実験室の建物が「第7サティアン」に似ていることからきたものであるが、この語の原意が「真理」であることを考え合わせると、言い得ている面もあってとても面白い。オウム真理教関係だけでも、「ああ言えば上祐」、「ポアする」、「尊師」など、さまざまな世相語が登場したが、オウム真理教の組織的な犯罪は、それが常識を遥かに越える異常さで不気味であったためか不快感がつのるばかりで、それでこの「サティアン」以外はあまり岐阜大学の「若者ことば」には反映されなかったのかもしれない。

携帯電話は、今や加入登録台数が1300万を越えて日本国民の10人に1台以上の割合で普及している。キャンパスでも携帯電話をもって歩きながら電話をしたり、あるいは廊下で周囲をまったく気にせずに大声でしゃべっている学生の姿を時々見かける。しかし、学生たちの間ではランニングコストが毎月の基本料金またはレンタル料金だけで済み、また、授業中に着信しても声を出して答える必要がなく携帯性にも優れたポケットベルが急速に普及しつつある。このことは、最近、机の上にポケベルを置いて授業を受けている学生の数が見えて増えてきていることから分かる。大学生協も携帯電話やポケベルの販売には力を入れており、組合員に月一度配布されるカタログ・ショッピングの広告でも、携帯電話とポケベルの広告が見開きの一面を飾っている。そこでのうたい文句は「ポケベルは一番手軽なコミュニケーション」となっている。また、最近のポケベルは「バイブ・モード」がついており、着信を従来の「ピピピ…」という電子音の代わりに、ポケベルが振動(バイブレーション)して教えてくれる。そのため大変ありがたいことに突然教室中に電子音が響きわたり、授業が中断されるということはなくなった。しかし、だからといって授業中に「ブルルル…」と学生のポケットの中や机の上でポケベルが突然ダンスを踊り始めてもよいというわけではない。「ポケベルは踊る、されど授業は進まず」では困る。そうしたポケベルを若者がどのように使用しているのかと言えば、それはかなり多様である。たとえば、(一部の学生ではあるが)代返を頼むときはもちろんのこと、キャンパス内で相手がどこにいるか場所を知りたいとき、突然授業が休講になってどこかへ遊び行きたいとき、また、単に自分が暇で相手に何かメッセージを伝えたいときなど、とにかく何かを思いつくと(36)「ベルする」のである。ポケベルは、メーカーや機種によって多少異なるが、ある機種では1回の送信で数字だけであれば30字、カタカナならば14文字のメッセージを送ることができる。これならば大抵のことは伝達することが可能であり、若者たちはたとえ相手が授業中であつたとしても、定型伝言文、自作伝言文またはフリーメッセージの他に数字による暗号でポケベルによるコミュニケーション、すなわち「ポケベル会話」を楽しんでいる。たとえば、「105216」は「ドコニイル?」、「724106」は「何シテル?」、「14106」は「愛シテル」、「()219」は「学校(←カッコ)ニ行ク」などのユニークな暗号を考えたり、判読したりすることに興じて(36)「ベルしている」のである。このような数字の暗号文のマニュアル本も出来上がり、『ポケベル暗号 BOOK』として双葉社から現在のところ2巻目まで刊行されている。(34)「ベルってる」は、ポケット

ベルが着信した状態を意味する表現であるが、時にはメッセージがうまく送信できない、または着信できないことがあるらしく、そうした時に(35)「ベルをミスった」と言うのである。また、いたずらが目的で相手のポケベルをただならすだけの「イタベル」([7])、バイブレーションだけでメッセージが入らない「カラベル」([41])などベルにも色々ある。ポケベル上で会話をする相手は「ベルトモ」([192])と呼ばれ、電話で話をする友達とは区別される。なかにはポケベル上だけのまったく面識のない「ベルトモ」もいるようである。最近の若者たちは、仲のよい者どうし、恋人どうしの間で常にコミュニケーションをとってほしいという願望があり、また、とっていないと不安になるらしく、ポケベルの急速な普及の理由の1つはそうした気持ちの反映であると考えられる。このようにポケベルは、今や新しい「会話のツール」として若者たちの日常的なコミュニケーションの在り方に入り込んできており、そこに現代電子テクノロジーの時代性が感じられる。

3.9. メディアからの影響がある

- (37) ①おこるで、しかし… ([20])
 ②むかつきたときに、シャレで使う
 ③「あんたバカじゃない？」－「おこるで、しかし…」
- (38) ①スワッピング ([96])
 ②カップルが別れること
 ③「あいつらスワッピングだな」
- (39) ①チョッ ([119])
 ②他人に物をせびるときに使う
 ③「たばこチョッ」
- (40) ①ぶよらー ([187])
 ②テレビゲームの「ぶよぶよ」をする人
 ③「ぶよらーたる者、9連鎖はあたりまえ！」

類例：[5]～で安定，[44]～関係，[87]シャネラー，[98]～星人，[127]ヅラ，
 [140]ドタキャン，[179]ピヨる，[224]ラリル など

これら(37)-(40)は、テレビなどのメディアから発生し、若者たちの間に広まったことばである。親元を離れ、アパート暮らしをしている学生はもちろんのこと、家庭内においても若者の個室化が進み、そこには多くの場合テレビというメディアがある。また、彼らはテレビゲームの大ブームの中で育ってきた世代でもある。現在の若者の行動の規範はマス・メディアであると言われる。若者はメディア上に登場する物事や情報の洪水の中で、是非・善悪の区別なく、それを規範のごとく考えて自分の考え方や行動を決める場合もあるのである。このことは未来社会に大きな影響を及ぼすと考えられるが、本稿では若者の行動についてまでは扱えない。しかし、「若者ことば」を見る限りでもそこにテレビ番組、コマーシャルまたはテレビゲームの仮想現実世界が大きな影響を与えていることが分かる。(37)「おこるで、しかし…」はある漫才師のおきまりのリアクションであり、テレビ番組で別のタレントによって茶化されて全国に広まった。しかし、その漫才師はもはや他界し、そのタレントも遺族か

ら非難を受けてテレビではもうこのことばを聞くことはない。(38)「スワッピング」とは、問題を抱えて関係が危なくなった複数の若いカップルが登場するテレビ番組の中で、自分のパートナーに見切りをつけて他のより魅力的な異性に乗り換えることを「スワッピング」と言うところからきているが、その番組はすでにその低俗さのためか放送終了となっている。(39)「チョッ」は、その由来は定かではないが、現在、テレビではタレントが「(商品を買ってチョッ」と言うコマーシャルが放映中である。また、(40)「ぶよらー」、「～で安定」([5])、「ピヨル」([179])などのようにテレビゲームにその語源があるものもある。テレビなどのメディアは不特定多数の視聴者を相手にしているので、その及ぼす影響は非常に大きく、そこで使われることばが広まる速度はとても速いが、また同時にこれらは流行語という側面が強く、生命がとても短いものが多い。

3.10. その他の特徴

- (41) ①ていうか～ ([128])
 - ②相手の言ったことを否定して、自分の意見を言うときに使う
 - ③「ていうか、俺の方が頭良いよね」
- (42) ①～系 ([57])
 - ②特に意味はないが、ことばの語尾につける
 - ③「講義は、今日は休講になった系」
- (43) ①～モード ([214])
 - ②～の状態
 - ③「げっ、単位落としたかもしれんモード」
- (44) ①～て感じ ([129])
 - ②意味なし
 - ③「あいつ、ムカつくって感じ」

その他の特徴として、たとえば、(41)-(44)のようなものをあげることができる。(41)「ていうか～」は、相手の主張を否定し、すかさず自分の意見を切り出すときに非常に便利な表現であり多用されている。(42)「～系」には、まったく意味がなく、「講義は、今日は休講になった系」のように何にでも文末につけるため一種の冗語となっている。(43)「～モード」は、これはもともとコンピュータ用語であるが、「げっ、単位落としたかもしれんモード」のように名詞的表現で言い切るにより簡潔さと面白味を出すことができる。(44)「～て感じ」は、「あいつ、ムカつくって感じ」のように文末に付けて自分の主張や断定をさける働きがある。日本語では、その社会の成り立ちから話し相手の気持ちを損ねまいとして話を進めるため、たとえば、「～ではないでしょうか」、「～だと思いたすが」のように断定的な言い方をせず、自分の主張を避ける表現がしばしば現れる。この(44)「～て感じ」は、本人たちは意識してはいないであろうが、それが「若者ことば」の中で極端な形となって現れたものと考えることができる。

最後にもう一つ「若者ことば」の特徴を指摘しておきたいことがある。それは「若者ことば」は、学生のすべてが一様にそれを使用しているわけではないという点である。たとえば、

試験前になるとキャンパスのあちこちで聞かれる「コピる」([69])は、日本中の非常に多くの学生が使うことばであり、これは「全国型の若者ことば」と言ってもよいであろう。それに対し、サークル用語の使用範囲はサークル内に限定されており、隠語的性格をもつため、サークルのメンバーの間でしか通用しないことは3.1.で述べた。さらに次の例(45)「いつポジ」のようにごく親しいわずか数人の友達の間でしか使われないような使用範囲が極端に狭い「ピンポイント型の若者ことば」というものもある。

(45) ①いつポジ ([8])

②いつものポジションの略語、「いつもの待合い場所」の意

③「2限終わったら、いつポジで待ってるわ」

このように「若者ことば」の語彙には、その使用範囲が広いものから狭いものまで色々であり、個人の生活環境や所属するグループ、また友達関係などによって異なるのである。

4. 「若者ことば」の機能

以上、本稿では「若者ことば」を分析し、その特徴を述べてみた。「若者ことば」の用例をながめてみると、そこからは話し好きで、仲間内で面白おかしく、楽しくおしゃべりをする、また、しゃれた冗談を言う若者の姿が浮かんでくる。実際、多くの学生は何人かのグループで学生会館のラウンジや生協の喫茶店、食堂の中、芝生の上や広場で、しかも思い思いのスタイルで楽しくおしゃべりをしている。授業中の様子とは大きく異なり、本当に別人ではないかと思えるくらい顔の表情も明るく、非常に快活で社交的なのである。大人数で行う講義では、一部の学生ではあるが私語が非常に多く、時には目に余るものがある。通常、私語は声帯を弛緩させて無声音で行うものと相場は決まっているが、中には有声音でやる者もある。たとえ声には出さなくても、ノートの端にメモをして筆談したり、時にはメモが何人かの手を経てかなりの距離を移動することもある。また、授業中はさながらポケベルの舞踏会のようなものである。仲の良い友達とは、いつでも、どんな時にでも、常にコミュニケーションをとっていたいのであろう。他方、彼らは何か1つの堅い真面目なテーマについて議論をしたり、人前で話をするのはかなり苦手のようなのである。大学で講演会があっても、講演者の話はしっかり聞くが、その後で質問を受け付けた時に何か1つでも質問が出てくることは極めてまれである。1960年代の若者たちは口角泡を飛ばして議論していたと言うが、現在、キャンパスの中でそのような若者の姿を見ることはまずない。「口角泡を飛ばす」という成語を知る者さえすら少なくなっている。みんな明るい顔をして談笑しているのである。ところが、このような身内のグループ内では多弁な若者たちは、人前あるいは公の場となると突如として明るい顔が消えて積極性がなくなり、寡黙になってしまう。「団塊ジュニア」と呼ばれる現在の大学生は、ライフスタイルも個人化・カプセル化して、他人との不必要な緊張関係や衝突はなるべく避け、小集団の仲間を作り、その仲間とだけうまくつきあっていきたい、あるいは小集団の中での暖かい関係をいつまでも続けていきたいと考える傾向が強いようである。そのために必要となるのが、仲間内だけで通用する、また、仲間内で楽しく「ノリノリ」([152])の気分でおしゃべりすることができる「若者ことば」なのである。若者

たちは、このような必要性から生き生きとした表現を次から次へと遊び感覚で作り出し、会話を楽しみ、そしておそらく本人たちは無意識にはあろうが、それによって仲間を作り、自分たちが仲間であることを確認しているのである。また、同じことばを使うことが仲間であることの証明ともなっている。「若者ことば」はこのような必要性から生まれてくるのであり、よって、「若者ことば」を「日本語の乱れ」とは短絡することはできない。また、若者たちは敬語の必要性をかなり感じているようである。果たして敬語を正しく使えるかどうかは別問題として、これは他者に対して敬意を表すことにより一定の距離を置いて人間関係の内と外を区別したい、あるいは邪魔をされたくはないという気持ちの表れなのであろう。つまり、仲間内で使う「若者ことば」が非常に親しみのある砕けたものになっているだけに、その分他者に対しては言語的な武装をしなければならないという意識が働くと考えられる。以上のことから「若者ことば」には、伝達機能以上に若者たちの人間関係を維持するための社交的機能、すなわち「交感的機能 (phatic communion)」*1) が認められる。現在、このような若者の言語生活は、キャンパスライフにおいて大きな賑わいをみせている。

※1) イギリスの社会人類学者 Bronislaw Kasper Malinowski (1884-1942) が作り出した用語である。通常、これは伝達には直接関係のない挨拶、健康状態、天候に関する儀礼的なやりとりなどの人間関係を維持するための言語の機能を意味するが、本稿では「若者ことば」そのものにそうした社交的機能が認められることを述べた。

[参考文献]

- Crystal, David (1987) : The Cambridge Encyclopedia of Language. Cambridge University Press
- NHK 放送文化研究所編 (1992) : 『NHK ことばのハンドブック』日本放送出版協会
- 大野 晋 (1989) : 『日本語の文法を考える』岩波新書
- 金田一／林／柴田編 (1988) : 『日本語百科大事典』大修館
- 柴田 武 (1987) : 『柴田武にはんごエッセイ1』大修館
- 城生伯太郎 (1994) : 『日本語研究所』日本実業出版
- 田中晴美他 (1988) : 『現代言語学辞典』成美堂
- 中野 収 (1996) : 「若者像の変遷」, 岩波講座現代社会学第9巻『ライフコースの社会学』岩波書店
所収
- 出川 直樹 (1995) : 『現代ニホン語探検』小学館
- 土屋 道雄 (1992) : 『日本語よどこへ行く』日本教文社
- 鶴田 洋子 (1989) : 『ことばは生きもの』誠文堂新光社
- 劉徳 有 (1991) : 『日本語の旅』サイマル出版会
- 自由国民社 (1996) : 『現代用語の基礎知識1996』
- ぼにーてーる編 (1994) : 『ポケベル暗号 BOOK』双葉社
————— (1995) : 『ポケベル暗号 BOOK 2』双葉社

「岐阜大学キャンパスことば一覧」

この一覧では、①表現、②意味、③用例、④コメントの順であげてある。なお、記号(c)はサークル用語であることを意味する。また、④コメントは、①表現に対する学生自身の生のコメントであり、出来る限りそのままの形にしてある。

【あ】

- [1] ①赤じゅうたん(c)
②音楽棟の部屋の略称
③「今日の練習は赤じゅうたんです」
④・オーケストラで使われる
・部屋の特徴からきたもの
- [2] ①アシのある連れ
②車で岐大に通う人、自分で車を持っている人
③「アシのある連れと今日は会わないから、クルマで送ってもらえないよー」
④パチンコ以外の娯楽施設がない岐大においてクルマを持つ友人の存在はとても大切である
- [3] ①足がない
②車が出せないこと
③「足がないから、遊びに行けなかった」
④使っている年齢層は思っていたより広がった
- [4] ①あずる
②AZUMA というパチンコ屋でパチンコをすること
③「3限あいたから、あずろうぜ！」
④いかにも岐大生である
- [5] ①～で安定
②とりあえず～が妥当である、無難である
③「次の授業休講だって、これからどうする？」－「まあ、ゲーセンで安定でしょう」
④テレビゲーム「バーチャファイター」から発生したことば
- [6] ①アンブット
②「暗記」+「インブット」
③「この単語アンブットした？」
④「暗記」と「インブット」を合わせて、よりはっきりと頭の中に入れること

【い】

- [7] ①イタベル
②いたずらの目的で相手のポケットベルをならすこと
③「あれ、またこれイタベルだ」
④ときどきやられる
- [8] ①いつポジ
②いつものポジションの略語、「いつもの待合い場所」の意
③「2限終わったら、いつポジで待ってるわ」
④・このことばは自分らにしか分からないが、頻繁に使っている
・僕の友達の間でしか使われていないと思う
・仲間の間でよく使われる
- [9] ①1食
②大学生協第1食堂の略
③「1食で本でも読んでるわ」
④1階の食堂よりも、2階の生協の売店という意味が強い

- [10] ①イッてる/いっちゃってる
②正気でないこと
③「ZZZ…よだれだらー」－「あつ、いっちゃってる！」
④・酒の席などで使われる
・この世のものとは思えない行動をとった人を見て使う
- [11] ①一発
②リーチとなった次の週にツモること
③「あの授業一発きたぜ」
④受ける気のなくなった授業なんかはこうなりやすい

【う】

- [12] ①うっとりい
②「うっとりい」の婉曲表現
③「こんなうっとりいアンケートやってらんない」
④「うっとりい」と直接言うとは強くなってしまいうので控えめに言う
- [13] ①裏スジ
②通るか通らないか分からない授業
③「あの授業は裏スジだ」
④麻雀をやらないと分からない

【え】

- [14] ①エグい
②かなり苦しい、きびしい
③「〇〇先生のテストはエグエグだよ」
④なし

【お】

- [15] ①オイルギッシュ
②(顔や頭などが)油っぽい人やもののこと
③「あの入って、何かオイルギッシュだよね」
④なし
- [16] ①応化
②工学部応用化学科の学生
③「あいつは応化で、あいつはドボッキーだ」
④なし
- [17] ①大垣まで行く
②JRで寝過ごしして大垣まで行くこと
③「今朝、大垣まで行きそうになった」
④まだやったことはない
- [18] ①オールドラゴン
②浪人経験ありで、なおかつ留年の人
③「オレ実はオールドラゴンなんだ」
④先輩が「オールドラゴン友の会結成だ」と言っていた
- [19] ①奥さん
②自分の彼女の事をさす
③「うちの奥さん、めっちゃカワイイんだって！」
④「僕の彼女」とか「〇〇(名前)」とか、友達の前で言うのが恥ずかしいときに恥ずかしさを

- 紛らわせる言い回しである
- [20] ①おこるで、しかし…
 ②むかつきたときに、シャレで使う
 ③「あんたバカじゃない？」-「おこるで、しかし」
 ④・これは今は亡き横山やすしから由来しており、
 ダウンタウンによってはやっている
 ・フレーズにメロディをつけて繰り返し言う場合
 もあり、一人が言い出すと、みんなで歌っ
 てしまいたくなるような誘惑に駆られる
 ・歌い終わったら「ちゃんちゃん」と言う
- [21] ①おそろ
 ②おそろい(の略)
 ③「そのマフラー私とおそろやん」
 ④簡略化によってことばが軽くなる
- [22] ①おちる
 ②コックリ、コックリ居眠りをする事
 ③「あの人、さつき、おちてたよ」
 ④「居眠りする」より言いやすい
- [23] ①お泊まりセット
 ②下宿している友人宅に泊まる時に必要最低限な
 物のセット
 ③「お泊まりセット持っていないから泊まれない
 よ」
 ④毎日持っている奴がいたらかなり怖い
- [24] ①おな中
 ②おなじ中学
 ③「おれはあいつとおな中だ」
 ④なし
- [25] ①鬼／おにのような(に)～
 ②ものすごい～、すごく～
 ③「鬼のような数」
 「今日、鬼のように寒いね」
 ④・意味は通じるけれど、初めて聞いたときには
 驚いた
 ・はっきり言って他の人は使わないかもしれな
 いが、私はよく使う
- [26] ①おにむか
 ②非常にむかつく
 ③「あの人、おにむか！」
 ④高校の時流行っていて、大学にも持ち込まれつ
 つある
- [27] ①おねむに入る
 ②授業中に寝てしまうこと
 ③「あ、やべー、おねむに入りそう」
 ④ねむいもんは、ねむい！
- [28] ①おの球場
 ②小野球場のこと、正門すぐ前の広場
 ③「おの球場でサッカーやろうぜ」
 ④野球をしているのを見たことは一度もない、野
 球場なのに
- [29] ①おはよ
 ②その日の初めの挨拶
 ③「○○ちゃん、おはよ」
 ④昼過ぎでも、夕方でも使う
- [30] ①お見合いバス(=[218])横バス
- [31] ①(右に/左に)おれ(c)
 ②(右/左に)まがれ
 ③「そこの信号を右に/左におれ」
 ④馬術部しか使わない
- [32] ①終わってる
 ②最悪の状況にあつてどうしようもないこと
 ③「明日のレポートもう終わってたて感じだよ」
- ④・あきらめる一歩手前のとにき使う
 ・使い方を誤ると、本当の意味の「終わった」
 と勘違いされる
- [33] ①音 1/2 (オンイチ/オンニ) (c)
 ②音楽棟の部屋の略称
 ③「今日の練習は音1でやる」
 ④オーケストラで使われる
- [34] ①オンザ
 ②前髪がまゆ毛より上(まゆ毛が見える)にある
 こと
 ③「前髪切ったらオンザになっちゃった」
 ④なし
- 【か】
- [35] ①隠れキリシタン
 ②人には自分は勉強してないと言いつつ、実は勉
 強していること
 ③「どうしてそんな難しい計算できるの？」-
 「さて、お前は“隠れキリシタン”だな」
 ④このことばを言われた者は裏切り者と見なされ
 る
- [36] ①過去問
 ②先輩から入取する過去の試験問題
 ③「ドイツ語の過去問手に入った？」
 ④受験生であったかつての自分がこれを使うと思
 い出される
- [37] ①カテイキョー
 ②家庭教師
 ③「カテイキョーやってる？」
 ④・漢字では「家庭教」と書く
 ・「家庭教師」をたった1文字省略しただけで、
 たいして変わらないのになぜか「師」の1文
 字を使わないところが不思議でたまらない
 ・これは全国一般に通じると思う。
- [38] ①かのる
 ②加納屋(仕出し屋)の弁当を買いに行くこと
 ③「今からかのろうぜ！」
 ④観音様に行くこととは違うので注意
- [39] ①Cafe(カフェ)(c)
 ②生協第1食堂のこと
 ③「今からカフェで昼食にしよう」
 ④・サークルで使われている、最初はどこか分か
 らなかった
 ・最初何のことか分からなかった
 ・はじめは「昼は1食、夕方からCafe」にな
 ると思っていたけど、ちがった
- [40] ①カラる
 ②カラオケをすること
 ③「1時からカラるで」
 ④・昔は使った、今はあまりカラオケをしない
 ・このことばを使うと、カラオケに行く前から
 ハイテンションになれる
- [41] ①カラベル
 ②ポケットベルで、バイブレーションだけでメッ
 セージが入らないこと
 ③「あれ、これカラベルだ」
 ④特になし
- [42] ①仮駐
 ②仮の駐車場
 ③「今日は仮駐に車とめてきた」
 ④・大学の入口付近を流れている小川の北側の駐
 車場のこと
 ・南側にあるのが仮仮駐車場
- [43] ①カリカリ(仮仮)

- ②仮仮駐車場
③「カリカリに止めたよ」
④わかりやすい
- [44] ①～関係
②～のこと
③「あの人、車関係、詳しいらしいよ」
④使い方がよく分からないが、芸能人がよく使っている
- [45] ①カンベ
②カンニングペーパー
③「カンベ作った？」
④・自分はしたことがない、小さな教室だと使えないらしい
・テスト前になると会話でよく飛び交っている
- [46] ①ガジる
②カレー屋ガンジーへ行く
③「2限ないの？ちょっと、ガジらん？」
④ガンジーを身近に感じることができる
- 【き】
- [47] ①気絶する
②自分の意志に反して寝ること
③「さっき、一瞬、気絶しちゃったー」
④大学よりも高校で使うことが多かった
- [48] ①さける
②はしゃぐこと、怒ること
③「昨日の飲み会でさけた」
④この表現はめちゃくちゃ騒いだ気がする
- [49] ①岐大サーキット
②岐大の中を環状に走る外周道路
③「今日のメニューは岐大サーキット3周」(部活動で)
④昔、あの外周道路がぐるっと1周できたとき、夜になると「走り屋」が集まって この道路がサーキットになっていたらしい
- [50] ①牛しばく
②吉野屋の牛丼を食べに行く
③「牛しばきに行こーぜ」
④よく使うことばである
- [51] ①ぎゅる
②牛丼の吉野屋へ行くこと
③「今からぎゅるうぜ！」
④おながが減っていることとは違うので注意
- 【く】
- [52] ①くちゃくちゃに
②滅茶苦茶に
③「お前、人の事くちゃくちゃに言うなー！」
④度合いが激しく思える
- [53] ①くっちゃべる
②たむろって、いろんな話をする
③「ラウンジへ行ってくっちゃべろうか」
④2限などの間の講義が抜け、暇している時に友達と会ったときなどに使う
- [54] ①くねる (c)
②ラーメン屋くねくねにラーメンを食べに行く
③「今日、くねろうぜ」
④・体をくねらせることとは違うので注意
・よく使う
・このことばはこのことばを使っているサークルでしか通用しないらしい
- [55] ①車出し
②遊びに行くときなどのドライバー
③「じゃ、負けたら車出しね」
④・ドライバーの人、いつもご苦労様

- ・ガソリン代もバカにはならないもんね
・他大学の人には意味が通じなかった

【け】

- [56] ①けーってけ
②「帰れ」と言う意味
③「お前もうけーってけ」
④言われると結構いやなものである
- [57] ①～系
②特に意味はないが、ことばの語尾につける
③「講義は、今日は休講になった系」
④まったくこのことばには意味がなく、どんなことばにもつける
- [58] ①けるった
②負けること
③「この前のトランプの勝負、オレけるっちゃった」
④このことばは「負ける」が少しなまったものである
- [59] ①げー
②「～だよ」などのニュアンスらしい
③「すげー、ムカつくげー」
④耳障り、でも岐阜弁らしいの勘弁してる
- [60] ①激～
②とても～
③「このバン激マズ！」
④・よくないと思う
・とにかく使いやすい
・たまに使うこともある
- [61] ①撃沈する
②(イ) 気分的にやられる、(ロ) 授業中に寝てしまうこと
③「今日、撃沈してしまった」－「え、まじー!？」
④「ばくすい」と同じニュアンス
- [62] ①下宅生
②自宅生なのに下宿生のところに寝泊まり、または転々とする人
③「君、どこから通っているの？」－「俺は下宅生」
④・下宿生にとっては、本当は邪魔なものである
・岐大生特有のことばらしい
・私の友人にもいる
・一番有意義な生活を送っている人ってこの人たちだったりして
- [63] ①ゲット (get) する / ゲッチューする
②何かを手に入れること
③(たとえば、お菓子が残っていて)「これゲットしちゃっていい？」
④・たとえその行為が盗みでも、このことばだとかわいく聞こえて許せる
・応用が利くのでよく使う
・欲しかった物が手には入ったとき「ゲッチュー」と言ってガッツポーズをすると手に入れた実感がわく
- 【こ】
- [64] ①CoCoろ
②カレー屋 CoCo 壱番屋に行く
③「今から CoCo しようぜ！」
④ココストア (コンビニ) に行くこととは違うので注意
- [65] ①構力
②工学部の専門科目の「構造力学」の授業のこと
③「明日は構力があるよ」
④省略をすると軽い感じがする

- [66] ①こわれる
 ②(イ) 行動や言動がおかしいこと
 (ロ) 笑いすぎの人
 ③「ねえ、○○ちゃん最近こわれているよね」
 「グラグラグラグララー」—「あ、こわれている」
 ④・私もよくこわれていると言われるし、自分でもよく言う(自分のことを)
 ・この表現は笑いのつばにはまって泣きながら笑っている人を見て使う
- [67] ①個P練(c)
 ②パートのリーダーと2人きりで練習すること
 ③「今日、個P練やるから練習しておいてね」
 ④サークルの子以外では絶対に通じない
- [68] ①コンプロ
 ②工学部の専門科目の「コンピューター・プログラミング」の授業のこと
 ③「コンプロの課題もうやった?」
 ④自分はこの軽い感じがあまり気に入らない
- [69] ①コピる
 ②ノート、プリントをコピーすること
 ③「このノートコピらせてくれん?」
 ④・とにかくコピーするということがよく分かる
 ・人が言うのはいいけれど、自分では使えない
 ・テスト前にそこらじゅうで使われている
 ・わけわからん、若者ことばは乱れておる
 ・略語なので便利です
 ・自分では使わないが、言いやすい表現だと思ふ
 ・試験期間中限定語
 ・「コピーさせて」より短くて使いやすい
 ・ただ単に短くして言っているだけである
 ・よくノートをもってかれる
- [70] ①合練/ゴーレン(c)
 ②各パートが全部集まり、合同で練習すること
 ③「今日の合練は最後に重点的にやります」
 ④サークルの子以外では絶対に通じない
- [71] ①5カ年計画
 ②・大学を5年かけて卒業するつもりであること
 ・「1年留年しそう」の意
 ③「あの子単位大丈夫なの?」—「あー、なんか5カ年計画らしいよ」
 ④・使用する者は限られている
 ・旧ソ連の経済政策の名前をとっているが、深いつながりはない
 ・5年目に入ったりとすると、「6カ年計画」などと言ったりする
 ・本気でそうするつもりなのかは分からない
- 【さ】
 [72] ①さくさくつと/サクサク~する
 ②(イ) 簡単に~する、(ロ) 何も迷わずに~する
 ③「おまえ宿題サクサクやれよ」
 ④・大学にきて初めて聞いたことば
 ・このことばはサークルの先輩がよく使うので、サークルの人は使うけど他の人は多分あまり使わないと思う
 ・リズムがよい
- [73] ①サクる
 ②サークルKに行く
 ③「どこ行く?」—「ちょっと、サクろうか」
 ④サークルKを身近に感じることができる
- [74] ①さくれつ(炸裂)
 ②怒りなどをまき散らすこと、「テンションの高さ」などが限度を超えていること
- ③「あいつ、さくれつするとこえーから速攻あやまったよ」
 ④・この表現は「怒り」などの状態を示す語が省略される場合が多い
 ・状態の強烈さを表現することができる
- [75] ①サッパリ
 ②全く分からないこと
 ③「今日のテスト、サッパリやー」
 ④全く分からないことがこの表現より分かる
- [76] ①サティアン
 ②工学部の研究室を言う
 ③「○○先輩、サティアンで実験しているらしい」
 ④応用化学科の実験室が、ある宗教団体の第7サティアンに似ているかららしい
- [77] ①さむさむ
 ②「さむい」を強調して言っているらしい
 ③「今日、雪だなー。さむさむだ」
 ④・友達がよく使う
 ・形容詞なら何でもいいらしい(例:「こわこわ」←「こわい」)
- [78] ①さむい
 ②つまらない
 ③「お前のギャグさむいぞ」
 ④こう言われたら結構ショックである
- [79] ①サヨナラ状態
 ②にっちも、さっちも、どうにもならなくなった状態
 ③「ドイツ語と政治学、サヨナラ状態やもん」
 ④まさに、サヨナラするしかないが、まだ死亡はしていないので、多少、ましである
- [80] ①サボサボする
 ②授業をさぼる
 ③「今日の1限、サボサボしよう」
 ④「ブツする」なんて聞いたことがない
- [81] ①30分ルール
 ②30分以内に先生が授業にこないと自動的に休講になるというルール
 ③「30分ルールで休講だ」
 ④あまり実際は起こらない
- 【し】
 [82] ①シカトする
 ②無視すること
 ③「あいつはシカトだ」
 ④キツイことばである
- [83] ①しくる
 ②ミスをする
 ③「テストの1番の問題をしかった」
 ④・「しまった」と「しくじった」の合成語であると思われる
 ・通常は過去形で「しくった」というように使う
- [84] ①しける
 ②失敗する、つまらない
 ③「あ!しけた!」「しけた事言うな」
 ④失敗するという意味でよく使う
- [85] ①死亡/死んだ
 ②だめになること、単位を落とすこと
 ③「物理と社会学は死んだ」
 ④まさにだめになった、という感じがする
- [86] ①車校
 ②自動車学校
 ③「今日、車校へ行く?」
 ④・これは全国で通じると考えている人が多いけ

れど、じつは岐大でしか通じない
 ・他では自校などと言わらしい
 ・「自動車学校」と長く言わないでもすむので
 使いやすい

- [87] ①シャネラー
 ②シャネルで身を固めている人、シャネルにこっ
 ている人
 ③「つくって、男には珍しく、シャネラーなん
 だって」
 ④一般にシャネラーは女性に多いが、シャ乱Q
 のつくは男のシャネラーとして有名

- [88] ①シャミる／しゃみる
 ②うそをつく（真面目なものではなく、すぐわか
 る笑えるウソ）
 ③「彼、学校にも来ないのに後期のテスト全通だっ
 て」－「そんなのシャミだって」
 ④・一時サークル内ではやった
 ・初めて聞いたとき、何のことだか分からない
 ・今もよく由来が分からない

- [89] ①JRer（ジェイアーラー）
 ②JRを利用して岐大へ通う人
 ③「君は、JR？、名鉄？」－「おれはJRerだ
 よ」
 ④名古屋ー岐阜間を新快速は18分で走ることが自
 慢

- [90] ①じこちゅう
 ②自己中心的な人
 ③「〇〇ってじこちゅうやね」
 ④血液型がB型の友達の事を言うときによく出
 ることば

- [91] ①事故る
 ②そのままの意味
 ③「今日、車で事故りかけた」
 ④・「事故にあう」の短縮表現
 ・このことばはけっこうみんな使っている
 ・あまり使いたくない

- [92] ①自主休講
 ②勝手に講義・授業をさぼること
 ③「今日、3限ないの？」－「うーん、自主休講」
 ④・一度すると病み付きになるそうです
 ・たんに授業をさぼるときに使うことば
 ・「休講」ということばが入っているので何と
 なく聞き流しているとか、本当に休講になった
 ような錯覚がおこる
 ・一部の人が使うことばであり、岐大生の共通
 用語ではないと思う
 ・個別科目をよく自主休講しました。ごめんな
 さい

- [93] ①ジモビー
 ②地元の人
 ③「さすがジモビー」
 ④よくわからない

- [94] ①ジャンボ・エンチャー
 ②授業が減茶苦茶延長になること
 ③「5限、ジャンボエンチャーされてバイトに遅
 れちゃったよ」
 ④語源は岐大のすぐ近くにあるホームセンターの
 「ジャンボ・エンチャー」から

- [95] ①ジャンる
 ②マージャンをすること
 ③「今日、授業終わったらジャンる？」
 ④マージャンをする人がよく使う

【す】

- [96] ①スワッピング
 ②カップルが別れること
 ③「あいつらスワッピングだな」
 ④テレビ番組「ねる様のふみえ」でよく使われて
 いる

- [97] ①ずりさげ君
 ②ズボンを下げてはいている人のこと
 ③「いやー、かっこいいね、ずりさげ君並みに」
 ④今頃になってなぜか大学内で見えるようになった
 のでこれは多少皮肉を込めて使う

【せ】

- [98] ①～星人
 ②～にあてはまるマニア、～をたくさん持っている
 人
 ③「ガムガム星人！ガムをくれい！」
 ④親しい間の人でないと使われない

- [99] ①ゼツイ
 ②サイコー
 ③「おまえは、ゼツイ」
 ④正確な意味はよく分からない

- [100] ①全損
 ②事故などで車を使えなくなるまで壊すこと
 ③「事故なら全損にしてよね。保険でおすに
 も一部損壊だとガタがくるから」
 ④聞き慣れないことばのため、聞き取れないこと
 がある

- [101] ①全通／ぜんつう／全つー
 ②すべての試験の科目の単位をとること、テスト
 が全部通ること
 ③「工学部の電情は全通する人が6割だって」
 ④・気持ちのよいものである
 ・単なる「全部通過」の略だと思
 ・このことばは単位を多く落とした人の前では
 使用を禁じられている
 ・おれはまだ使ったことがないので、言えるよ
 うになりたい
 ・前期は1コ落としました。後期は全通目指し
 てがんばります

- [102] ①全然いい
 ②とても良い、すごく良い
 ③「この髪型変じゃない？」－「ううん、全然い
 いよ」
 ④・岐大だけではなく、全国どこでも使われてい
 るようだ
 ・初め聞いたとき抵抗があったが、今では自然
 に使うようになっている

【そ】

- [103] ①速攻／ソコウで～する
 ②すぐに、急いで
 ③「今日5時からバイトだから、ソコウで帰る
 わ」
 ④・「急いで」と言うよりも、急ぐという感じが
 である
 ・なんとなく急いでいる雰囲気をかもし出して
 いる

【た】

- [104] ①態度LL
 ②態度が大きいこと
 ③「あの先生、態度LLじゃない!？」
 ④高校の時初めて聞いた、婉曲的な感じを受ける
- [105] ①タクル
 ②タクシーに乗る

- ③「今日、授業に遅れそうになって、タクっちゃった」
 ④かなり使いやすいが、意味が通じない時もある
- [106] ①聞ってくる
 ②トイレで大きい方へ行くこと
 大便をしてくるときに使う
 ③「ちょっと俺聞ってくるわ」
 ④友達が使っていたが「かなり強敵だった」とか「激しい闘いだった」とかの応用例もあるらしい
- [107] ①タメ
 ②同い年の子
 ③「彼らはタメ年(ドシ)なんだって」
 ④何となくいい感じがする
- [108] ①タマランチ会長
 ②本当にたまらないときに使う
 ③「それって、たまらのじゃない？」-「いや、もう、タマランチ会長ですよ、ここまできると」
 ④馬鹿にされるのを覚悟で使う、捨て身のせりふ
- [109] ①旅に出る
 ②物が紛失すること
 ③「気に入っていたピアス、旅に出ちゃった」
 ④あたかも物に意志があって、足が生えて「みずから歩き去ってしまった」というような事態を茶化した表現
- [110] ①代返/ダイヘン
 ②授業で欠席者の変わりに返事をする
 ③「次の授業代返しておいて」
 ④・自分は決してしたことがない
 ・顔を覚えられていると使えない
- [111] ①ダサイ
 ②かっこ悪い、古くさい、むさ苦しい
 ③「あの人のかっこうすごくダサイ(ムサイ)よね」
 ④これは形容詞
- [112] ①ダブる
 ②留年すること
 ③「このままだとダブリソー」
 ④・関係のない人が多い
 ・いやなことばである
 ・できれば使いたくない
- [113] ①ダブルドラゴン
 ②2年留年すること
 ③「あの人これでダブルドラゴンだぞ」
 ④ここまできるとわざと留年していると思えない
- [114] ①だべる
 ②仲間内で世間話すること
 ③「次の授業休講だからラウンジでだべつとろーか」
 ④世間一般でも使われていると思うが、暇つぶしの感じが強い
- 【ち】
- [115] ①チェイサー!
 ②やったね
 ③「今日のテストできた？」-「チェイサー！」
 ④幸せいっぱい、夢いっぱいの表現である
- [116] ①チャッチい
 ②あまりよくなく、ばかにするとき使う
 ③「僕の時計は性能が悪くて、チャッチいよ」
 ④すでに日常化してしまっているので感想やイメージはわからない
- [117] ①ちょう/超〜
 ②とても、すごく〜
 ③「わかってますって、超OKっすよ」
 ④・よく使う
 ・ちょっとオーバーな気がするし、頭が悪そうにも見える
- [118] ①ちょー〜
 ②非常に、大変〜
 ③「昨日さー、ボキヤ天見ただけどさー、もー、ちょーすごいわってあれ」
 ④・「ちょー」と発音は平坦に憎らしく言うのがこつ
 ・主にばからしいことに使う
 ・「ちょー」は、少し前に「超〜」というのがはやったが、それを馬鹿にするために使う
- [119] ①チョッ
 ②他人に物をせびるときに使う
 ③「たばこチョッ」
 ④たばこ一本など、ちょっとしたものを人からせびるときに使う
- [120] ①ぢもティー
 ②自宅通学者のこと
 ③「下宿？通い？」-「ぢもティーだよ」
 ④長距離通学者はたいへんぬい
- 【つ】
- [121] ①使える
 ②便利、都合がいいこと
 ③「シャーペン貸して」-「1本しか持っとらん」-「お前、使えんやつだなー」
 ④例みたくに否定形をよく聞く
- [122] ①つまむ
 ②マージャンをする
 ③「今からつまんどく？」
 ④軽い誘いに使える
- [123] ①つよぞう(→[219]よわぞう)
- [124] ①ツモる
 ②授業の出席日数が足りなくなり、受験資格を失うこと
 ③「あのドイツ語ツモっちゃった。昨日でもう4回休んじやったから」
 ④ドイツ語ではないが、他の授業でつもったものはいくつかあります
- [125] ①つもる
 ②混み合っていて狭い
 ③「今日のバスつもっているね」
 ④友人の方言(岐阜)らしいけれど、感覚的によく分らない
- [126] ①津田倫
 ②津田先生の倫理学の授業
 ③「津田倫は全然通らんで取るのよそうぜ」
 ④・誰でも使っている
 ・津田倫理と言う人はいない
- [127] ①ツラ
 ②かつら、不自然な髪、いつもと違う髪型
 ③「あれっ！ツラじゃん。ストバ(=ストレートパーマ)かけたの？」
 ④かつらをあからさまに面白がってからかっている印象がある
- 【て】
- [128] ①ていうか〜
 ②相手の言ったことを否定して、自分の意見を言うときに使う
 ③「ていうか、俺の方が頭良いよね」

- ④使っている自覚がないのに、使ってしまったている自分が悲しい
- [129] ①～で感じ
②～という感じである、気がする
③「あいつ、ムカつくって感じ」
④「超」と同様、頭が悪そうである
- [130] ①テツ
②徹夜で勉強すること
③「きのう、テツしたよ」
④ががんばって勉強したという気持ちが込められている
- [131] ①テツカラ
②徹夜でカラオケをすること
③「きのう、テツカラだったよ」
④聞いたことがあるだけで、本当にみんなが使っているかは不明
- [132] ①デイリーってくる
②デイリーストアに行って買い物をしてくる
③「今からデイリーって来るけど、何かほしい物ある？」
④「コンビニ、ファーストフードの店名+ってくる」の表現形式で使う
- [133] ①デビューする／している
②イ) 一人だけ目立ったり、ちょっとずれたことをやること
 ロ) 少々奇怪で、おかしい人のこと
③「うわうわー、おまえ、デビューしてるわ」
④・この表現はいい意味ではなく、悪い意味で使う
 ・感覚的な表現なので難しい
- [134] ①デリる
②デイリーストアへ行く
③「これからデリるとするか」
④・よく使うことばである
 ・文字通りの「毎日」ではないが、よく行く
- 【と】
- [135] ①とうひる
②テストから逃げてゲーセンに行くこと
③「きょうのドイツ語だけど、とうひろうよ」
④このことばは僕と友人の二人しか使っていない
- [136] ①とくい
②能がないこと
③「本当にお前とくいなあ」
④たぶん「特殊クラスの」の特殊が語源らしい、つまりお前はそれくらい最悪だというすごく差別的なひどいことば
- [137] ①突撃する
②帰りの混雑したバス停でなんとしてでも乗ろうとして押し寄せること
③「突撃しろー！」
④後ろから押されると、結構痛い
- [138] ①留・福留
②留年すること
③「俺さあ、大学で留・福留しちゃったよ」
④・「留年」ということばは重いので、「留・福留」とあえて関係のない「ズームイン朝」の顔ともいえる福留氏を出すことによってライト感覚にさせている
 ・現代のことばは常にライトへと傾き続けている
 ・Hするというのも、その一例ではないだろうか
- [139] ①ドコモリアン
- ②Docomoのポケットベルを使っている人
③「あいつはドコモリアンだ」
④「テレメツ星人」に対抗して自分で考えた
- [140] ①ドタキャン
②直前になって約束事をキャンセルすること
③「今日のコンパいいメンバーじゃないから、あいつドタキャンしやがった。人数がたらんじゃないか」
④なし
- [141] ①土手駐(ドテチュウ)
②校外の川の向こう側にある空き地に車をとめること
③「車どこにおいてあるん？」－「土手駐してる」
④・車を買えば自分も利用すると思う
 ・あそこは学校の土地なのだろうか、とたまに思う
 ・ちゃんと駐車許可証をもらいましょう
 ・見つかったら学生証を没収される
- [142] ①ドボカー／どぼカー
②工学部土木工学科の学生のこと
③「ねえ、ドボカーに誰か知り合いいない？」
④・言いやすい
 ・呼びやすい
- [143] ①ドボッキー
②工学部土木工学科の学生のこと
③「土木工学科1年の〇〇です」－「わあ、ドボッキーだ！」
④・土木工学科の学生に対する差別用語らしい
 ・インパクトが強く、覚えやすい
 ・学科を言うときの略、土木の人はドボカーと言っているみたい
- [144] ①ドラゴン
②留年のこと(ドラゴン→龍→留)
③「実験落とした。オレドラゴンだ」
④こうはなりたくないものである
- [145] ①ドロ駐／どろちゅう
②イ) 下が土の駐車場、校内の本来は駐車場でない泥の広場に車をとめること
 ロ) 柳戸会館北側の舗装されていない駐車場のこと
③「今日は置くとこなかったから、どろちゅうにとめた」
④・駐車場の進入ゲートは作るのはやめてほしい
 ・ゲートができると、このことばを使う人はかなりヘルでしょう
 ・初めの頃は、そこは駐車場だと思っていた
 ・見つかったら学生証を没収される
 ・下がアスファルトの駐車場には使用しない
 ・ここは車の止め方が自由だから、たまに出られなくなることがある
 ・構内の駐車場がだめなので外にする
 ・私は車がないので使いません
 ・この駐車場は雨や雪が降ると泥だらけになってしまう、できれば入りたくない
- [146] ①どろどろ駐
②学校の外の駐車場
③「今日はどろどろ駐に車がとめてある」
④なし
- 【に】
- [147] ①にけつ
②自転車の二人乗り
③「にけつしていこう」

- [148] ④なし
 ①2食する
 ②大学生協の第2食堂で食べる
 ③「今日は、2食るか!」
 ④・かなり使いやすいが、意味が通じないときもある
 ・2食はセットメニューも多く、教養部から近くて便利だ
 ・腹が減ったときによく出てくる言葉
- [149] ①2号くん
 ②毎日バイトをする人のこと
 ③「今日もバイトだ」-「お前2号くんだなあ」
 ④体と単位をけずってバイトをする
- 【ね】**
 [150] ①ねたおす
 ②・起きなくてはいけないのに、寝続けること
 ・寝過ぎて時間に間に合わなくなったり、さぼってしまうこと
 ③「昨日、つやで今日の1限寝倒しちゃった」
 ④・あまり自分で言いたくない言葉だと思った
 ・自分のまわりではよく聞く
- [151] ①ノーベン
 ②NO勉強の略、つまり勉強してないこと
 ③「今日の化学のテストノーベンだよ」
 ④「濃勉強」の略の濃勉強では意味が逆になってしまうので注意
- [152] ①ノリノリ
 ②気分が最高調であることを表す
 ③「今日ノリノリじゃーん、杉浦!」-「んー?」
 ④自分もノリノリになる
- 【は】**
 [153] ①ハイ
 ②気分が明るい状態にあること
 ③「今日はすごくハイだね」
 ④「ブルー」の逆
- [154] ①~はいつてる(入っている)
 ②~の(ような)状態である
 ③「今日、ちょーブルー入ってさー」
 ④「ブルーなんだ」というより「ブルー入ってる」の方が何らかの外的要因によってその状態になったという印象が強い
- [155] ①ハコる
 ②マージャンでハコテンになること
 ③「あーあ、ハコってしまった」
 ④なし
- [156] ①はしる
 ②言動が言い過ぎていたり、はめを外しすぎること
 ③「おまえ、今、走っているね」
 ④音楽の演奏で規定の速度より早く演奏することに由来する
- [157] ①(～)の発言権を封じる
 ②相手が不愉快なことを言ったとき、「もうしゃべるな」の意味で用いる
 ③「またくだらないことを言っているな。もう君の発言権を封じるぞ」
 ④・とりあえず友人がいつも使っている
 ・他にも使う者がいるかどうか不明
 ・冗談と本気を併せ持っている
- [158] ①はばちょ
 ②のけものにする、される
 ③「おれだけ今日はばちょやー」
 ④このことばの響きが好きである
- [159] ①ハマる/はまる
 ②(イ) 厳しい先生の授業を知らずにとってしまうこと
 (ロ) 何かに夢中になってしまい、そのことから抜け出せなくなること
 ③「あの先生の授業はハマりやぞ」
 「私、今〇〇にはまっちゃってさー」
 ④そのはまった対象が相当好きなものであることを言うのに適している
- [160] ①ハモる
 ②ハーモニをとって歌う、ことばを発する
 ③「今、ハモったね!!」(会話中)
 ④会話中に同時に同じことばを発したときに使うのだが、男と女がハモると響きが良い
- [161] ①爆睡先生
 ②爆睡している人のこと
 ③爆睡している人が目を覚ますと、その人に対して「爆睡先生、おはよう」と言う
 ④・「爆睡(バクスイ)」は思いっきり寝ること
 ・授業中に居眠りをしている人に対して使う
 ・テレビコマーシャルの「バクスイ先生」に由来するらしい
- [162] ①バグる
 ②機械などが壊れて変になること
 ③「このCDラジカセ、バグってる」
 ④完全に壊れたときは使わない
- [163] ①バック/ばっくれる
 ②(イ) 様々なことをさぼる
 (ロ) 約束を破ったり、授業をさぼること
 (ハ) 集団で行動しているときに1人または数人でみんなに気づかれないようにいつの間にかいなくなること
 ③「今日の1限のドイツ語バックれようかー」
 「今日の約束バックれちゃえ」
 「みんなといつもつまんないから、バックれてどっか遊びに行こうか」
 ④・「さぼる」と言った方がわかりやすいかもしれない
 ・自分では使わないので、よく分からない
 ・語源は分からないけど使う
- [164] ①バサる
 ②腹が痛いこと
 ③「お前、今日バサっとる?」
 ④自分自身このことばについてよく分からないが、どうもゲームの「ボンバーマン」が起源らしい
- [165] ①バリる
 ②マクドナルドでバリューセットをたのむこと
 ③「今日は金欠だからバリろうぜ」
 ④・とてもお値打ちである
 ・他に「チャンボる」(チャンボンを食べること) などがある
- [166] ①ばん
 ②ラーメン屋「サッポロラーメン21番」のこと
 ③「ばん行こうぜ!」
 ④サークルの先輩から聞いて、行くときはいつも「ばん」と言っている
- [167] ①(一撃で) パットンする
 ②1回でだめになること
 ③「一撃でパットンした……」
 ④この表現はパットン戦車が一撃で敵を粉砕することに由来していると思われる
- [168] ①パーレン (= [178] P 練)
- [169] ①バクリ

- ②何かを相手に黙ってまねること、情報の悪用
 ③「このレポートの内容、オレのバクリだろう」
 ④絵や小説、マンガなどでよく見る明らかに他人のまねと思えるものに用いる
- [170] ①ばくる、バクル（かつる？）
 ②人の物を盗む、「ばくられる」で捕まえられるの意味もある
 ③「お前！人の物をばくるなよ！」
 ④・盗む、とるという使い方よりも今は自然に使っている
 ・語源はよく分からないが、若者ことばの代表的なものの一つだと思う
 ・よく使うけど、意味びつたりの表現だと思う
 ・受け身で使うことが多い
 ・盗んでないが、ただ持ってきたときも使う
 ・基本的には盗むことだが、人のものを本人の前で持っていこうとするような冗談めかした場合にも用いる
- [171] ①パス
 ②さぼること
 ③「今日、全部パス」
 ④「さぼる」というより聞こえがよい
- [172] ①バギる
 ②著しく服装がおかしいこと
 ③「あの人、バギっているよ」
 ④このコトバを使う人も、たいていバギっていると思う
- [173] ①ばちる、バチる
 ②(i) 物をとってくること（無断借用）
 (ii) 物を盗むこと、万引きすること
 ③「駅にチャリ置きっぱなしにしたらバチられちゃってさー」
 「俺この本屋でバイトしてんだけど、バチるなよー」
 ④・友人がよく使うので、自分にもだんだんうつてきたように思う
 ・「盗む」「とる」よりも軽い印象を受ける
 ・出身地によって「バクル」「ベチる」とも言う
- [174] ①バチる
 ②バチンコをする
 ③「今日、バチろうぜ」
 ④バチンコをする
- [175] ①パニクる
 ②パニックになる
 ③「テストが多くてパニックってるよ」
 ④あせて何をしたらいいのかわからないとき使う
- 【ひ】
- [176] ①ピニベン
 ②コンビニのお弁当
 ③「今日のお昼ピニベンにしよう」
 ④なし
- [177] ①びびる
 ②非常に驚くこと、びっくりすること
 ③「もう、おどかさんでよ、びびったじゃん」
 ④とても言いやすいと思う
- [178] ①P練（ピーレン）(c)
 ②パートごとの練習
 ③「今日のP練は1：30からです」
 ④サークルの子以外では絶対に通じない
- [179] ①ピヨる
 ②気絶すること
- ③「今日は、疲れていてもピヨりそうだ」
 ④・テレビゲームの「ストリートファイター」に由来する
 ・友達が使うだけなので、全然みんなは知らないと思う
- [180] ①ピロる
 ②ピロティーに集まること
 ③「〇〇時にピロティーで集まる」
 ④なし
- [181] ①ピロピロ
 ②ピロティーのこと
 ③「お昼ピロピロで会おうね」
 ④たぶん私や私の友人の間でしか通じないだろう
- 【ふ】
- [182] ①ファミレス
 ②ファミリーレストラン
 ③「あの人、ファミレスでアルバイトしてるって」
 ④特になし
- [183] ①ふける
 ②さぼること、途中で帰ること
 ③「今日の個別、プリントだけでもらってふけようぜ」
 ④・聞いたことがあるだけで、本当にみんなが使っているかは不明
 ・自分はよくやる
 ・よくわからないと、悪いことをしている感じがする
 ・たまにやりたいです
 ・あまりよくないことだと思う
- [184] ①ブチる
 ②バイトなどの予定を自分の都合で強制的にキャンセルすること
 ③「今日なんか疲れたからバイトブチろうかな」
 ④・俺はバイト命ですから、ブッチするなんてしません
 ・バイトの日ではないのに、仕事しに行くことを「逆ブッチ」と言う
- [185] ①ブクイチ
 ②イップク（たばこを吸う）すること
 ③「疲れた、ブクイチするぞ」
 ④何かの漫画で見たことがある
- [186] ①プレッシャーをかける
 ②他人に心理的圧迫をかけること
 ③「食うところねえで、プレッシャーかけとこうぜ！」
 ④・食堂が混んでいて時、人が食べているところのすぐ後ろや横で囲むようにして立つこと
 ・逆に自分が食べているときは「プレッシャーをかけられる」言う
- [187] ①ぶよー
 ②テレビゲームの「ぶよぶよ」をするひと
 ③「ぶよーたる者、9連鎖はあたりまえ！」
 ④・あくまでも「ぶよー」と平仮名をイメージして発音する
 ・カタカナは不可。
- [188] ①ぶるーになる／ブルーはいる（入ってる）
 ②憂鬱になる、落ち込んでいること
 ③「今日いやなことがあってめっちゃブルー」
 ④・非常に難しい心理的状態を簡単に表現できる
 ・ハイテンションの逆
 ・ことばで意味が想像しやすい
 ・気分を色にたとえて嫌な感じをさりりと表現

- している
- ・沈んだ気持ちにはブルーがよく似合うと思う
- ・僕は「ブルーはいる」をよく使う
- ・この表現は、落ち込んでいる気持ちを他人に対してうまく伝えることができる
- ・少しギャグ的な言い方なので、その気持ちを和らげられる
- ・よく聞くことば
- ・この表現は気分が悪くなることをよく表している
- ・「気落ちした」や「気分が優れない」よりも言いやすい

【へ】

- [189] ①ベルってる
- ②ポケットベルをバイブモード（振動）にしておいて、メッセージが届いたときにポケットの中などでふるえている状態
 - ③「わー、ベルってるよ」
 - ④・何かに集中しているときなどは、とても驚く
 - ・最近私はカバンの中にポケベルが入っているので授業中とかにメッセージが入っても気がつかない。
- [190] ①ベルをミスる
- ②ポケベルにメッセージがうまく入らないこと
 - ③「佐織のベルミスってるよ」
 - ④自分がよく言われることばである
- [191] ①ベルる／ベルする
- ②ポケベルで連絡する
 - ③「ひまだったら、ベルしてくれ」
 - ④日常会話の一つとして使っている
- [192] ①ベルトモ
- ②ポケベル上の話し相手
 - ③「きのう、ベルトモからベル入ってさ…」
 - ④私にはベルトモが1人いて、よくかかってくる。
- [193] ①ベチ
- ②パチンコのこと
 - ③「ベチでもしようか」
 - ④自分で使わないから、よく分かりません
- [194] ①ベチる(= パチる)
- ②盗んでくること、だまって物をとってくること
 - ③「この用紙ベチってきたわ」
 - ④万引きの意味もあるが、一般にはもらってもいい物をちょっと悪ぶって言うときに使う

【ほ】

- [195] ①ほけかん
- ②保健管理センター
 - ③「頭痛がするからほけかんに行って薬をもらってくるよ」
 - ④・自分では使ったことがないが、そう言うらしい
 - ・単なる略したことば
- [196] ①ほしゃる
- ②物が故障すること
 - ③「オレのけた、とうとうほしゃったよ」
 - ④なんとなく物が壊れている、という感じがする
- [197] ①ポリサーする
- ②授業をさぼること
 - ③「今日の2限はポリサーするわ、俺」
 - ④業界用語をまねて使ったらしい
- [198] ①ぼうきん(宝金)
- ②金宝町(岐阜市内の地名)
 - ③「ぼうきんでバス降りて、新岐阜まで歩くわ」
 - ④オレたちだけで使うのは……

【ま】

- [199] ①マクル
- ②マクドナルドへ行くこと
 - ③「今日、マクらん？」
 - ④・同じ様なのに、[202]「ミスる」(←ミスタードーナッツ)、[213]「モスる」(←モスバーガー)などがある
 - ・スカートをまくることとは違うので注意
- [200] ①まぐる
- ②つかれてそのへんで寝てしまった人
 - ③「今日はまぐるが大漁だな」
 - ④なし
- [201] ①まじ/マジ
- ②(イ) 英語の really に相当する
 - (ロ) 本気, 本当
 - ③「まじであの先生いやだよ」
 - 「マジで勉強した」
 - ④・ルーツはまじめということばらしい
 - ・本気や本当のことを強調する感じがする

【み】

- [202] ①ミスる1 (→ [199] マクル)
- [203] ①ミスる2
- ②誤りをおかすこと
 - ③「テストの最後の計算問題ミスっちゃった」
 - ④・「失敗する」というよりも短くて言いやすい
 - ためよく使う
 - ・英語と日本語のミックスがおもしろい
 - ・なにか使いやすい気がする
- [204] ①緑じゅうたん(c)
- ②音楽棟の部屋の略称、部屋の特徴からきたもの
 - ③「今日の練習は緑じゅうたんんでやる」
 - ④オーケストラで使われる

【む】

- [205] ①ムカつく
- ②腹が立つ
 - ③「あいつムカつく」
 - ④独り言のように言ったりするときもある
- [206] ①ムサイ (= [111] ダサイ)
- [207] ①ムッキーな
- ②ムカつく、いらいらする(ということらしい)
 - ③「昨日、電車が20分も遅れてさあ、滅茶苦茶ムッキーだった」
 - ④このことばは名古屋出身の人が喋っていたが、どうも少数派らしい

【め】

- [208] ①名鉄er(メイテツァー)
- ②名鉄を利用して岐大へ通う人
 - ③「どっちで通ってるの？」 - 「わたしは名鉄er」
 - ④運賃値上げ後も名鉄で通う人はすばらしい
- [209] ①めっちゃ
- ②とても
 - ③「めっちゃ眠い」
 - ④なし
- [210] ①メモる
- ②ノートや手帳にちょっとしたことを書き込むこと
 - ③「テストの時間割もうメモった？」
 - ④・「メモをする」の略語
 - ・ミスると同じで英語からできたことばであるが、なじみやすい

【も】

- [211] ①モくる

- ②たばこを吸うこと
- ③「モクろうぜ」
「外でモクるか！」
- ④・たばこのケムリがモクモク上がることからつ
いたのだろう
・健康に気をつけよう

- [212] ①もぐり
②とっていない授業にでること
③なし
④もぐりの中にはカップルが多い
- [213] ①モスる (→ [199] マクる)
- [214] ①～モード
②～の状態
③「げっ、単位落としたかもしれんモード」
④モードの前に特徴のあるモードの人の名前をつ
けることがある
- [215] ①もりける
②他人の理不尽さを指摘する
③「今の君の発言はもりけってるよ！」
④多用しないこと

【や】

- [216] ①ヤクイ
②ヤバイ
③「この状態、ヤクイぜ」
④正確な意味はよく分からない
- [217] ①ヤニル
②タバコを吸うこと
③「ヤニってこようぜ」
④もしかしたら、ぼくたちの仲間しか使ってない
かもしれない

【よ】

- [218] ①横バス
②座席が向かい合っているバス
③「今日の朝は横バスで立っていたから疲れちゃっ
た」
④・横バスで立つと疲れるし、座れる人が少ない
から、あまり好きではない
・このバスは座席が少ないので座れないことが
ある
・「隣のトトロ」のネコバスとは音は似てい
ても、全然違うものである
- [219] ①よわぞう
②弱い人、弱者、弱虫
③「あいつさー、強気に出たと思ったのに、相手
が凄んだだけで『ごめんなさい』 だってー。
ちょーよわぞ！」
④・体力的な弱さよりも、精神的な弱さについて

使われる

- ・立場が弱い場合もこの表現が用いられる
- ・反意語として「つよぞう」がある
- ・初めは言われると腹が立っていたが、言われ
続けると大して気にならなくなる
- ・特に女の言いなりになって反論できないこと

【ら】

- [220] ①ライブる
②附属図書館へ行くこと
③「ちょっと昼休み、ライブろうぜ」
④名詞の動詞化をしている
- [221] ①ラウンジグ
②ラウンジにいること
③「〇〇さんどこにいるか知ってる？」－「ラウ
ンジグ」
④なし
- [222] ①ラウンジる
②友達とラウンジでおしゃべりをする
③「3限ひきー」－「ラウンジる？」
④なし
- [223] ①ラリる、ラリってる
②ノリノリの状態で極限を超えた状態、気が狂っ
ている、異常だ
③「昨日、カラオケ行ってメチャメチャラリっちゃっ
た」
④なし
- [224] ①ラリル
②セガラリーというゲームをする
③「ラリリに行こうぜ」
④仲間ではか通じない

【り】

- [225] ①リーチ
②あと1回の欠席でテスト受験資格を失うこと、
もうあとがない状態
欠席できる日数ギリギリまで欠席すること
③「俺、ついにドイツ語 A がリーチかかっちゃっ
たよ」
④・余裕をもって試験にのぞみたいものです
・ドイツ語だけではなく、ほとんどの授業がリー
チ状態である

【その他】

- [226] ①～er (c)
②～する人
③「荷物ハコパー」(「はこぶ」+ er)
「キューダー」(「弓道」+ er)
④弓道部では大いに利用されている